鎌ケ谷市政策評価表

鎌ケ谷市政策評価表 政策の名称 14個人が尊重しあう多様な市民交流をつくります											
		1「健康で生きがいのある福祉・学習都市」をめざして					 	上洋如트			
■ 基本日標 ■ 重点政策該当有無		「健康で生さかいのの句情性・子自動用」を切らして					一氏名 高岡 敏和				
		- 政等を Fに自/宝1	海オスための方等 [、])				1-21 4			
①前回の評価で掲げた内容	正・改善内容(=政策をより良く実施するための方策 指定管理者の導入など民間委託等推進計画に基づき、市民サービスのさらなる向上と経費の節減に努めていくとともに、市民・団体・関係機関との連携のもと、創意工夫をし、他分野の施策と連携した活動を進めていく必要があります。さらに、これらを補完するため、今まで以上に行政からの情報発信を強力に推し進めていく必要があります。 鎌ケ谷、南初富、道野辺中央コミュニティセンターの管					福祉・環境・防犯・防災などの活動における自治会の役割が大きくなる中で、自治会の加入世帯の増加及び多様な主体間を結びつける地域づくりコーディネーターの養成を行う必要があります。 更に、市民が安心した生活を送れるよう、地域の独ち繋びため、古民が気軽に古民活動に会					
基づく取組み結果	理運営を指定 なる向上を図り	管理者の導入により りました。また、市民と 戦略的に協働を推進		の絆を繋ぐため、市民が気軽に市民活動に参加できる環境を整備し、市民交流の活発化を促進する必要があります。							
Ⅱ 政策	の目的・概要	•									
①目的	対象	すべての市民 意図(対象をどうするのか)				地域の絆により安心した生活を送れるようにします。					
②政策の	D概要	市民一人ひとりがまちづくりの役割を認識して、地縁で結ばれたコミュニティづくりを進めていくとともに、地域情報化や国際化を推進し、男女が均等に社会の利益を享受できるような社会づくりを進め、すべての市民が地域の絆により安心した生活を送れるようにしていきます。									
③環境分析(状況変化 や今後の見込み・市民意 向など)		少子高齢化、人口減少という都市共通の課題の中で、都市化の進展によりコミュニティが希薄化してきており、 そのような中で情報発信や男女共同参画社会づくりの重要性が増しています。									
Ⅲ 事務	事業の成果や	やコストの状況									
①平成2 の施策の	6~27年度 D成果	男女共同参画社会 業を実施しました。 ました。また、市民 進センターの来所者が	個性豊かなコミュニテ 活動を活発化させ	イづく	くりのために、 めに市民活動	自治会 動フェスタヤ	加入促 や講座等	進パンフ テを実が	レットの作 近した結り	成•配布	を行い
②施策 成果指 標			指標名称			単位	年度	平成26 年度	年度	目標値 (27年度)	目標値 (32年度)
	1	自治会加入世帯数				世帯	29,407		29,308		29,800
	3	市民活動推進センター登録団体数 滑き1年間に地域活動をした末尺割合(末尺音楽調本)			団体	120 61.2	125	83	90 66.0	105 68.0	
	4	過去1年間に地域活動をした市民割合(市民意識調査) 市ホームページ年間アクセス数				<u>%</u> 件		411 400	410,445		420,000
	5	市ホームペーシ年间				<u>計</u> 件	30,259	•	91,279		56,000
	6	まないパペット利用性数 男女が平等であると考える市民割合(市民意識調査)				11 %	20.1	32,036	91,279	30.0	35.0
	7	男女が平寺であると考える中氏制造(中氏息畝調査) 審議会等女性委員割合			%	21.8	26.3	28.0	27.0	30.0	
	8	黄畷 女 サス 任 女 員 引 日 通訳 ボランティア 登録 人数				人	26	13			30
	9	西訳パランティア豆球八致 姉妹都市ワカタネを知っている人の割合(市民意識調査)				<u>%</u>	45.1	-		60.0	65.0
	10	Treatment to the treatment of the treat				, 5				75.5	35.0
	11										
③政策 <i>σ</i>	の事業費	平成26年度決算	平成27年度決算	市	民一人あたり	事業費	(27年度	決算)	平成28:	年度予算	
事業費(185,008	124,526					1.1			99,574
IV 評価·検討 ①課題		地域コミュニティ活動や市民活動の活性化のため人材の育成が必要になります。また、地域情報化に伴い、多様な情報通信機器を活用した情報提供が重要となっています。更に、男女共同参画の推進のためあらゆる分野で男女がともに能力を発揮できる環境整備や、国際化の推進のため外国人が活動しやすく暮らしやすい環境整備が課題になります。									
②総合評価		3総合評価の理 女共同参画社会			では、市民生活を支える地域情報化の推進や男 会づくりにおいて目標値を達成しており、個性豊 づくりや、国際化の促進においても、概ね目標 いるため。						
Ⅴ 今後	の方向性										
①成果の方向性					ストの方向性	の方向性 →維持					
③特に重点化する施策		施策1 個性豊かなコミュニティづくり									
の付に里	M 12 / 4/10/10		<u> </u>								